

□ 次の各問いに答えなさい。

問一 次の漢字の成り立ちにあてはまるものを一つ選びなさい。

意味を表す文字と音を表す文字を組み合わせでできた漢字

ア、明 イ、講 ウ、楽 エ、林

問二 次の——線の漢字の読みを書きなさい。

駅のホームは帰省客であふれていた

問三 次の熟語の対義語として最も適切なものを選びなさい。

単純

ア、複雑 イ、利口 ウ、困難 エ、疑問

問四 次の(ア)・(イ)にそれぞれ漢字を入れ、四字熟語を完成させなさい。

空(ア)絶(イ)

問五 次の文は「劇」という漢字を漢和辞典で探すときの方法をまとめたものです。解答欄の指示に従って答えなさい。

「劇」の音は□1であるので、音訓さくいで引けるが、部首さくいんでは□2のところを引けばよい。総画数は□3画となる。

問六 次の——線の文中での働きとして最も適切なものを選びなさい。

私の家の近くには、小さいながらも公園がある。

ア、主語と同じ働き イ、述語と同じ働き
ウ、修飾語と同じ働き エ、接続語と同じ働き

問七 次の——線のかなづかいで、まちがっているものを一つ選びなさい。

ア、試合の前日にケガをするとは、選手としてあるまじきことだ。
イ、祖父は、エレベーターで「お先にどうぞ」と声をかけてもらった。
ウ、姉は、ダイエットの失敗につじつまの合わない言い訳をした。
エ、私は、ほうづえについてぼんやり外を見ている友人に声をかけた。

問八 次の——線の言葉の使い方として適切でないものを一つ選びなさい。

ア、横領疑惑の会社に、警察が捜査のメスを入れたという二ニュースが報じられた。
イ、この夏は多くの海水浴場の沖にサメが現れたので、書き入れ時の海の家は悲鳴を上げたそうだ。
ウ、一年前に転校していった彼女から変わらず元気だと、風のたよりが届いた。
エ、優秀な彼にこんな簡単な仕事を頼むのは、役不足で気が引けてしまふ。

問九 次の□に入ることわざとして最も適切なものを選びなさい。

卒業式が近づいてきたある日、担任の先生が私たちに「私たちが使った教室を『□』、きれいにして下級生に渡しませよう。」とおっしゃった。

ア、情けは人のためならず イ、立つ鳥跡を濁さず
ウ、亀の甲より年の功 エ、親しき仲にも礼儀あり

問十 次の百人一首の□に入る語句として最も適切なものを選びなさい。

めぐりあひて見しやそれともわかぬ間に雲隠れにし夜半の□かな

紫式部

ア、月 イ、星 ウ、友 エ、夢

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「お金を使う」ことを、「投票行動」だと言う人がいます。この言葉を聞いたことはありませんか？「社会への投資」だという人もいます。それは、消費者がどんなものにお金を使うかで未来の社会のあり方は変わってくる、**A**「社会をいい方向に向かわせるお金の使い方を心がけよう」という呼びかけです。

何かに対してお金を払うとき、「なんとなく」選ぶのではなく、その品物がどういうふうにつくられたかとか、どういう思いが詰まっているとか、それを買うことがどういう結果につながるかなどを考え、「自分なりの理由」を持って選ぶということです。

世の中には、良心的な企業がたくさんありますし、一生懸命ものをつくっている人や、一生懸命サービスをしている人もたくさんいます。一人でも多くの消費者がそのようなところから買うように心がければ、良い仕事をしているところの業績が伸び、自分の儲けのことばかり考えて消費者を食い物にしているところは自然に淘汰されていきます。結果として、より安全で住みやすい世の中に近づいてゆくということです。

「投票行動」は消費だけに留まりません。寄付をする、ボランティアをする、ものをあげる、手助けをする等々、お金を介する介さないにかかわらず、大きな目で見ればそれらはすべて経済行為ですし、投票行動です。一人ひとりの行動が世の中をつくっていくのです。

それは、「生きたお金を使う」と表現することもできます。最近はまだ耳にしなくなりましたが、僕が小さい頃はこの言葉を使っている人がたくさんいました。そのせいか、いまでも強くインシヨウに残っています。おとなから、「生きたお金の使い方をしなさい」と言われることも多

献することになるのです。

これは、いま世界で広がっている「フェアトレード」にも通じる考え方だと思えます。フェアトレードは、直訳すると「公平な貿易」という意味になります。経済的にも、社会的にも弱い立場になりがちな開発途上国の原料や製品を適正な価格で、かつ継続的に購入することで、生産にかかわる労働者の生活の改善等を目指す貿易のしくみを言います。

グローバル化が進んでいる今の世界では、とても不公平な貿易慣行がまかり通っていることが多く、産地の人は、原料や製品を安く買いたたかれ、貧困状態から抜け出せなくなっているケースが多くあります。

今、輸入される原料や製品の中にはものすごく安いものがたくさんありますが、それは低賃金の労働者やときには児童労働に支えられてはじめて成り立つ価格設定でしかなく、輸入に関わっている大企業は莫大な利益を上げているかもしれないけれど、現地で働いている人たちは、働いても働いても貧困状況から抜け出せない、などという場合が多くあります。

フェアトレードの考え方は、「現地の人たちにきちんと労働に見合うだけの賃金を払おう、その分はきちんと価格に反映させよう」という考え方なんです。実に当たり前のことが当たり前でないのが、問題なのです。もし自分が現地の子どもで、学校にも行けず、毎日毎日苛酷な労働に従事させられていたら……と想像するのは難しいでしょうか？

⑤ フェアトレードの考え方に賛同できる人は、チョコレートやシャツを買うときに、ぜひ候補のひとつに入れてみてほしいと思います。フェアトレードを名乗っているかわしい商売をしている人たちもいるようですが、今はたいていのことはインターネットなどで調べることができます。興味のある人はぜひ調べてみてください。

でも、自分の近くにも、見えていないだけでいろんなことがあると思

かったです。おとな同士が「生きたお金の使い方」になっているかどうかを議論しているのを聞いたことが何度もあります。

最近では、お金を「うまく」使う方法がむしろよく話題になります。高価なものを安く手に入れると「うまく」使ったということになります。その場合、どれだけ「安い」かがポイントです。結局、それはどれだけ「儲かったか」「得をしたか」ということであり、「自分限定」の経済行為、しよせんは「所有」の話にすぎません。

「生きたお金」は、「同じ金額を使うなら、できるだけ多くの人の役に立つように使う」ということであり、同じ金額でどれだけ他の人を潤すことができたかということがポイントになります。つまり「他の人」や「社会」への貢献度が、鍵になるのです。

B、同じジュースを買うのでも、C Mに莫大な金額を使っている大手チェーンのA店のもではなく、地元の果物を使っているB店のものを買う、というようなことです。同じ金額設定のジュースであれば、その売り上げから得られる利益は、A店もB店もあまり変わらないかもしれませんが、ジュースの利益がもたらす価値は、A店とB店では全く違います。

この場合のポイントはもちろん「地元」です。地元とは、自分が暮らしている地域のことで、地域に元気な店や人が多ければ、それだけ活気あふれた町となり、暮らしやすくなります。住民としては、できるだけ地元利益を還元する方向で消費するのが、結局は自分の利益にもつながるのです。「地元の果物」なら、果物の生産者へも農協へもジュース屋さんへも、確実に利益をもたらします。そして、そこに雇用が生まれ、経済が循環します。おまけに、全国展開の大手チェーンと違って、輸送にコストもエネルギーもかかりません。輸送の際に排出されるCO₂の削減にまで貢

ます。普段、みなさんはどんなお店で買い物をしていてでしょう。家族や友だちと外食するとき、どんな基準でお店を選ぶでしょう。最近では、有名な店や大型店舗で買い物をし、全国展開しているチェーン店で食事をする人が増えているのかなと思います。

いつも通る道でもいいし、たまには普段と歩くルートを変えてみるのもいいと思いますが、自分の町を改めて探検してみるといいのはどうでしょう。あなたの町には、シャッター通りになりかけている商店街はないですか。シャッターが降りてしまったところは、以前は何のお店だったのでしょうか。どんな人が暮らしていたのでしょうか。それとも、店は閉めてしまっているけど、まだ、シャッターの奥で生活は続いているのでしょうか。じっくり町を眺めながら歩いていると、おじいちゃんとおばあちゃんや細々とやっている定食屋さんなんかが見つかるかもしれません。そんな店に入ったことはありますか？ 普段は大手のファミレスやファストフードにしか行かないという人も、一度そんな店を覗いてみてはどうでしょう。長くお店を続けているということは、それだけ支持する人がいるということです。もしかししたら隠れた名店かもしれません。

町の本屋さんもどんどん少なくなっているようです。ネット注文で済ませたり、大型店でしか買わない人が多いのでしょうか。八百屋さん、果物屋さん、魚屋さん、和菓子屋さん、文具屋さん等々、小規模でやっているお店もどんどん少なくなっています。

いつのまにか、車を持っている人、インターネットを使いこなせる人、気軽にかけられる元気な人だけが、便利さや安さを享受できるような世の中になってしまったのです。⑥ お年寄りや障がいを持っている人の中には、時代の変化についてゆけず、黙って生活の不便を我慢している人もたくさんいることだろうと思います。

読者のみなさんの多くは「若い」から、「時代の最先端」についてゆくの
は「楽しい」でしようし「簡単」ですよね。だから、困っている高齢者の
人たちが障がいを持っている人のことは、「かわいそう」とか「大変そう」
だとは思っても、どこか「他人事」になってしまいがちではないでしょうか。
でも、衝撃の事実を告白すると、僕も若い頃は時代の最先端を生きてい
ましたが、五〇代後半に入った今、時代の変化にはほとんどついていけ
ません。たぶん、あと一〇年もすれば、まったく置いてけぼりになるの
はないかと思っています。

えっ、そのどこが「衝撃の事実」なのかって？ そんなふうに考える
人は、自分も歳をとることを忘れていませんか？ 時代が変化するスピー
ドはどんどん速くなっています。あなたはその変化に何歳頃までついてゆ
けるでしょう。僕のように五〇代半ばまではなんとか大丈夫でしょうか？
それとも、最近の変化が速い分、四〇代で「もう無理」となってしまうで
しょうか。

平均寿命が八〇歳だとか、九〇歳だとか言われている時代に、こんな
にたくさん時代についていけない人が量産されているなら、それはとても
「成功」したやり方だとは言えないと思います。

世の中には、小さな子どももいれば、高齢者もいます。妊婦さんや赤
ちゃん連れの人もいます。車いすの人も病気を抱えながら働いている人
も、目の不自由な人も、耳が聞こえない人も、文字を読めない人もいま
す。今は健康だと感じている人も、病気になるったり障がいを得ることがあ
ります。それは不幸なことでしょうか？

いえいえ、すべては命の「一状態」に過ぎません。命としてこの世にあ
る限り、いろんな状態になる可能性は常にあります。だから、いろいろな
状況になること自体は不幸でも何でもありません。そうではなくて、先

ほど例に挙げたような、いわゆる「弱者」と呼ばれる人たちが、社会で活
躍の場を奪われていることこそ「不幸」と呼ぶべきなのです。時には、当
たり前に生活する場まで奪われている場合さえあります。それは、本人に
とってだけでなく、社会にとつての不幸でもあります。

逆に、誰がどんな状態になっても、その人の持っている「力」を最大限
に發揮してもらえたら、それが本人にとつても社会にとつても最大の「利
益」であるのは、少し考えればわかると思います。誰にとつても暮らしや
すい世の中とは、そこに暮らす一人ひとりの人が、自分の持っている力を
十分に發揮できる社会のことです。それは、社会が最も活力に満ちている
状態です。自分の住んでいる社会がそんな状態であれば、この先、自分自
身に何が起ころうとも安心して生きてゆけます。いつ、どんな状態になつて
も、「生きてゆこう！」という希望が持てるからです。

「自分はどんな世の中で生きていきたいか」という視点で考えてゆけば、
どういう行動を取るのがいいか、自然と見えてきます。中でも、投票行動
である買物物は、かなり大きなウェイトを占めます。新しい服を買うのを
やめて友だちと服を交換するのも、フェアトレードの商品を買うのも、地
元の店で買物するのも、すべてそういった投票行動のひとつです。みん
なの行動のひとつが、社会の今後のあり方を決めていくのです。

世の中のことを考えながら行動すると、自分のやっていることに意味が
出てきます。自分の行動に意味が見えてくれば、お金の使い方方も自然に決
まってくると思います。もし、あなたの地元に応援したいお店があれば、
みんなに呼びかけて盛り立ててゆきましょう。そのとき、それは単純に
「モノを買う」という「個人的な」行為からはすでに離れ、地元を活力を
呼び込むために「支え合う」という「社会的な」行動になっています。

（南野忠晴『シアワセなお金の使い方―新しい家庭科勉強法2』）

問一 — 線①「A・B」に入る最も適切な言葉を選びなさい。

- ア、また イ、例えば ウ、だが
エ、あるいは オ、だから

問二 — 線①「生きたお金を使う」とあるが、「生きたお金」の説明と
して最も適切なものを選びなさい。

- ア、地元企業の商品を消費することを優先して、環境に配慮できるよ
うにお金を使うということ。
イ、高価なものをできるだけ安く手に入れる方法を探して、常に得を
するようにお金を使うということ。
ウ、多くの人や社会に貢献することを意識して、社会をよりよくする
ようにお金を使うということ。
エ、企業の戦略にはまらないことを心がけて、無駄遣いをしないよう
にお金を使うということ。

問三 — 線②「インショウ」を漢字に直しなさい。

問四 — 線③「ジュースの利益がもたらす価値は、A店とB店では全く
違います。」の理由として最も適切なものを選びなさい。

- ア、大手チェーンのA店が得た利益が単に一企業だけに与えられる
ものであると違って、地元企業のB店が得た利益はそこに暮らす
人々や地域の活性化、ひいては環境保全にも役立つから。
イ、大手チェーンのA店が得た利益がCM費用にほとんどあてられて
しまうのと違って、地元企業のB店が得た利益は確実に商品開発に
還元され、より安全で安価なジュース作りに役立つから。
ウ、大手チェーンのA店が得た利益が同じ業界の発展にのみ費やされ
るのと違って、地元企業のB店が得た利益は生産者と消費者をつな
ぐことに役立つから。
エ、大手チェーンのA店が得た利益が広く消費者や環境に還元される
ものであると違って、地元企業のB店が得た利益は限られた地域
の経済活動に役立つものではないから。

問五 — 線④「不公平な貿易慣行」について、次の1 2 3に
入る最も適切な言葉を解答欄に合わせて文中から探し、説明文を完成
させなさい。

- 1(五字) から原料や製品を非常に安く輸入することで、2(三字)
が莫大な利益を得る一方、1 の生産者や労働者には不公平で
3(二字) から抜け出せない状況を生み出す貿易が以前から行われて
いること。

問六 ― 線⑤ 「フェアトレードの考え方に賛同できる人は、チョコレートやシャツを買うときに、ぜひ候補のひとつに入れてみてはと思います。」とあるが、フェアトレードの特徴として最も適切なものを選びなさい。

ア、消費者が製造元や製造過程を確認できる仕組みになっている。
イ、労働や製品の価値に見合った適正な値段を設定し輸入している。
ウ、多くが輸入品であるためにインターネット上のみで販売している。
エ、開発途上国から輸入する製品であるため安い価格設定にしている。

問七 ― 線⑥ 「お年寄りや障がいを持っている人の中には、時代の変化についてゆけず、黙って生活の不便を我慢している人もたくさんいることだろうと思います。」とあるが、なぜそのような状況が生じてしまうのか。その原因となる「時代の変化」としてあてはまらないものを一つ選びなさい。

ア、郊外的大型店舗で買い物をする人が増えた
イ、ネット注文で買い物をする人が増えた
ウ、最先端の流行を好む消費者が増えた
エ、地元の商店街で閉店する店が増えた

問八 ― 線⑦ 「それは、本人にとってだけでなく、社会にとつての不幸でもあります。」とあるが、本来、どのような社会であるべきなのか。説明した部分を文中から三十五字で探し、最初の五字を答えなさい。

Ⅲ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

小学校四年生の夏に、父の転勤で福岡市内の団地から、ある村に転校してきた加奈子は、慣れない田舎の暮らしや周りの人、新しい学校によりよくなじんできた。

四月になって新学期が始まった。私は五年生になった。二クラスしかないので確率は二分の一だったけれど、咲子ちゃんとはまた同じクラスになった。ものすごくうれしかった。

担任の先生も同じ、福原先生だった。福原先生から「将来の夢」というテーマで作文を書いてくるように、という宿題が、五年生最初の日に早速出た。福原先生のクラスでは、四月の最初の日に必ず書く作文だそうだ。「毎年なんでおんなじこと書かせるんやろって思ってたけど、前に書いたこと、案外忘れとうと」

①「去年書いたばかりのことも？」

「うん……あ、思い出した」

「え、なに？ 咲子ちゃんの夢」

咲子ちゃんが、くちびるをきゅつとすばめて、ちよつと赤い顔になった。

「言えんと。なんか、はずかしいけん」

「一年で、はずかしくなると？」

「うん……そんなもんだ。っていうか、今書かないかんってこともちよつとはずかしさ……」

咲子ちゃんの顔が、ますます赤くなってきた。それを見ているうちに、自分の顔もなんだか赤くなってくる。

問九 「モノを買う」ということを、「個人的な」行為から「社会的な」行動へと変えるためにはどのようなことが大切か。本文の内容をふまえて自分の言葉で述べなさい。

②「昔はなん書いてもはずかしくなかった気がするんやけどね。みんなの将来の夢を聞くのも楽しかった」

「みんなの夢を聞くの、今もきつと楽しいよ」

「うん……じゃあ、かなちゃんは、なん？ なんて書くと？ 作文に」

急に訊かれて、う、と答えにつまった。

「えつと……急には、わからん……」

「そ、そうか。そうたいね、急には、わからんよね」

咲子ちゃんは？ と逆に質問したくなつたが、自分が答えられなかったものを訊くのもよくないことに思えて、訊かなかった。

先生はなんだって毎年同じ質問をするんだろう、と宿題の意味を考えながら部屋でごろんと転がっていると、ごめんください、という声が聞こえた。おハルさんだった。

母も姉も妹も、もちろん父も家にいなかったたので、私が一人で対応した。

「庭のチューリップがたくさん咲いたから、おすそわけよ」

おハルさんは、白とピンクのチューリップのつぼみの束を抱えていた。

「きれい……」

「お庭で咲かせた方がうんと長持ちするんですけどね、来年度の球根を増やすために、つぼみのうちに切ってしまったの。花瓶にさしても、しばらくすれば、とってもかわいい花が咲きますよ」

おハルさんは、そう言つてチューリップを私に手わたすと、すぐに振り向いて帰ろうとした。私はとつさにその手を取つて、今、お茶、淹れます、チューリップのお礼です、上がつて下さい、と言つた。

「まあ、かわいい人からの、すてきなお茶のお誘いね。お受けするわ」

おハルさんがにつこり笑った。

私はおハルさんを応接間に通した。そこは、大事なお客さまが来たときのための部屋で、学校の友達が来たときは使わせてもらえなかったのだ、私がこの部屋に誰かを案内することは今までなかったのだが、おハルさんなら、母もなにも言うまい、と判断して、迷わずこの部屋に通したのだ。

白いレースをかけた、煉瓦色の布のソファにハルさんを手マネキして、こちらで少々お待ち下さい、と声をかけた。おハルさんは、おマネキありがとうございます、とうやうやしく礼をしてからソファに座った。大急ぎで、虹のようにいろんな色が溶け合っている、家の中で一番好きなガラスの花瓶につぼみのままでも十分かわいいチューリップを活けた。

「すてきな花瓶ねえ」

テーブルの上に運んだとたん、おハルさんがほめてくれたので、うれしくなった。

「チューリップは水がいたみやすいから、毎日を替えてあげてね」

「はい」

そんな会話をしている間に、チューリップのつぼみの先が、少しほころんできた気がした。

と、ケトルがピーと鳴いた。私は立ち上がって紅茶を淹れにいった。

紅茶は、人数プラスポットの分一杯だから、今日は三杯分……、といつかおハルさんに教わったおいしい紅茶の淹れ方を頭の中で復習しながらお茶を淹れた。ポットには、おハルさんからもらったポット用の毛糸のカバーをかけ、ティースプーンを載せたティーカップセットとお盆に載せた。冷蔵庫に入っていた苺を、お茶菓子のかわりにガラスのウツワに盛った。

もう、たいへんだったのよ」

「おハルさん、アメリカには、とっても行きたくて行っただんやって、思ってた」

「船に乗って行くときはそれなりに希望に燃えてたのよ。夢のような国に行けるんだって、自分で自分を思い切り励ましてね。でも現実⑨はシビアだった。この苺さんのようには甘くなくて、おもいっきりすっぱくて、苦かったってわけ」

おハルさんはそう言いながら、苺を一粒ぱくりと口に入れた。

「かなちゃんが用意してくれた苺、なんておいしいの。季節がきたら、こういうおいしいものが必ず食べられて、今はほんとうにしあわせよ」

しみじみとそう言っておハルさんは紅茶のカップに口をつけた。

「今がしあわせだから、今までのことは、全部よかったことだって思うときもあるわね」

将来の夢……。その将来って、今のおハルさんみたいにゆったりと、全部よかったって思える日のことを指すんだろうか。

⑩ますます作文になにを書いたらいいか、わからなくなってしまった。

「ねえ、かなちゃん、あの作文、なんて書いたと？」

作文を提出した日の帰り道に、咲子ちゃんに訊かれて、ドキリとした。

「えっと、うん……えーと、じゃあ、言い出しつべの咲子ちゃんから教えて」

「ええ……えーと……わたしはねえ……」

咲子ちゃんはうつむいて、ちょっと恥ずかしそうな顔をした。⑪ぱちぱちと二度まばたきしたあと、顔を上げて私にまっすぐ目を向けた。

「今年はね、洋服を作る人になる、って書いたと。この間マフラー自分で

「うん、完璧」

私はほこらしい気持ちでお盆を運んだ。五年生になったことを、胸をはって言えるような気がしたのだった。

おハルさんは、私の淹れた紅茶を飲みながら、かなちゃんはすっかりすてきなレディーになったわねえ、と目を細めた。レディーなんて言われたのは初めてで、こそばゆい気持ちになった。

「まだ学校もはじまったばかりだから、のんびりできるわね」

おハルさんが言ったひとことで、今日福原先生から出された宿題のことを思い出した。

「いいえ、いきなり難しい宿題が出たんです。将来の夢を書きなさいって」

「あら」

「おハルさんは、子どものときに、なんて書いたんですか？ 将来の夢」

「将来の夢？ 私の？」

おハルさんは、今まで見たこともないようなびくくりした顔をした。

「そんなこと、考えたこともなかったわ。学校でそんなすてきな宿題が出たこともなかったし」

おハルさんの顔が、ふっと寂しげになった。

「私のころはね、今みたいに女の子がいろんな仕事を夢見てもいい時代ではなかったの。ほとんどの女の子は、誰かのお嫁さんになって、その人とその家のためにつくして生きることだけが求められたのよ」

「そうなの？ でも、おハルさんは、それだけで生きてきたわけではないですよ。アメリカに行ったり……」

「アメリカに行ったのも家のためよ。日本で働くところがなくて、夫と働く場所を求めて行ったのだから。言葉もぜんぜんわからないのに。それは

作って、とっても楽しかったけん。自分のものだけじゃなくて、この人にはこんな色や、こんな形が似合うやろうなあ、とか考えはじめたら楽しくてしょうがなかったとよ」

「うん、よか、それ、すつごくよかよ、咲子ちゃんにぴったり合っとうと思っ」

「ありがと。かなちゃんは？」

「私、は……」

その次の言葉を続けようとして、脇の下にじわっと汗がにじんでくるのがわかった。

「えっと……、咲子ちゃん、なにを言っても笑ったりせん？」

「もちろんたい」

咲子ちゃんが爽やかに笑った。

「私ね、いろんな人のことを書く人になりたいって、書いたと」

「いろんな人のことを書く？」

咲子ちゃんがきょとんとした顔をした。

「うん。咲子ちゃんがおハルさんに編み物を教えてもらって楽しかったみたいに、私はおハルさんにいろんなできごとを教えてもらって、すごくおもしろかったと。だから、もっともつと教えてもらって、それを文章にして、そのおもしろさをいろんな人に伝えてみたかと」

「へえー、かなちゃんすごーい」

「おハルさんだけじゃなくて、きつといろんな人がいろんなこととして、いろんなことを考えてて、そのこと、書いてみたい。そのとき、その人はどんな気持ちだったのか、なにを感じてたかを。それでそれを、言葉にしてみたいかと」

「うん、かなちゃん、おもしろいところあるけん、それ、ぜったいいいよ。」

わたしのことも書いてくれると？」

「うん、もちろん」

「あ、わたしのことなんかじゃつまらんよね。なんもかわったことないけん」

「咲子ちゃん、ぜんぜん、つまらんことないよ！ 咲子ちゃんは、世界で一番おもしろいと思うけん！」

「ほんとにいい？」

「ほんと、ほんと。ほんとに咲子ちゃんのことすてきに書くけん、咲子ちゃんは私に、一番似合うすてきな服、作ってよ」

「咲子ちゃんは、みるみる笑顔になって白い歯をたっぷり見せたまま、うん、とうなずいた。」

（東 直子『いとこの森の家』）

問一 — 線①「去年書いたばかりのことも？」とあるが、この時の加奈子の心情として最も適切なものを選びなさい。

ア、自分の夢を思い続けることなくすぐに忘れてしまうのは無責任だ

イ、自分の夢に対して執着もこだわりもなく忘れろとは情けない

ウ、自分の夢とは人の一生に関わることなのに忘れろとは意外だ

エ、自分の夢をわずか一年という短い間で忘れろとは信じられない

問二 — 線②「昔はなん書いてもはずかしくなかった気がするんやけどね。」とあるが、咲子の昔と今の心情の変化の説明として最も適切なものを選びなさい。

ア、昔は将来の夢を考えるだけで楽しかったのだが、今は少しずつ現実が見え始めたことで、自分の夢を現実的にとらえられるようになってきている。

イ、昔は他人がどう思うか気にもとめなかったが、今は他人との違いや他人から受け入れてもらえるかを意識するようになってきている。

ウ、昔は深く考えることもない単なる幼い夢であったが、今は自分の夢に確かな考えが加わり、他人がどう思うかを意識するようになってきている。

エ、昔はどんな夢でもかなえられると信じていたが、今は自分の能力も見えてきて、かなえられない夢を語るのは恥ずかしいと感じるようになってきている。

問三 — 線③「手マネキ」・⑦「ウツワ」を漢字に直しなさい。ただし、送りがなが必要な場合はひらがなで書くこと。

問四 — 線④「うやうやしく」の意味として最も適切なものを選びなさい。

ア、堅苦しく慎重に

イ、勢いよく元気に

ウ、わざとらしく大げさに

エ、心をこめて丁寧に

問五 — 線⑤「いたみやすい」と同じような意味を持つ次の慣用句の□に入る語を選びなさい。

□がはやい

ア、足

イ、気

ウ、耳

エ、目

問六 — 線⑥「ほころんできた」を別の五字の言葉に言い換えなさい。

問七 — 線⑧「そんなすてきな宿題」とあるが、そのようにハルさんが表現した理由を自分の言葉で答えなさい。

問八 — 線⑨「現実にはシビアだった。」の説明として最も適切なものを選びなさい。

ア、現実には苦しすぎて我慢できなかった

イ、現実には厳しすぎて期待どおりではなかった

ウ、現実には寂しすぎて心が満たされなかった

エ、現実にはひもじすぎて長く生活できなかった

問十 — 線⑩「ばちばち、と二度まばたきした」から読み取れる様子として最も適切なものを選びなさい。

ア、自分の言葉を決めて口に出すためのふんぎりをつける様子

イ、自分の言葉を人に話す恐怖心に打ち勝とうとしている様子

ウ、自分の言葉を楽しみに待っていてくれるのがうれしい様子

エ、自分の言葉を真剣に聞く相手がいることで緊張が高まる様子

問十一 — 線⑫「脇の下にじわっと汗がにじんでくるのがわかった。」とあるが、その理由を自分の言葉で説明しなさい。

問十二 今年の二人の「将来の夢」に共通するものは何ですか、最も適切なものを選びなさい。

ア、自分の希望より、仕事を自由に選べなかったハルさんのためにも、ハルさんが喜ぶ仕事を選択すべきだと考えている。

イ、自分が希望している仕事の中で、経験を生かせ将来的にも安定した仕事を選択しようとしている。

ウ、自分の希望だけでなく、他者とのつながりを持ちたいという気持ちから始め、将来の仕事の選択にも影響を与えている。

エ、自分の希望が何であろうが、自分が楽しめ、やりがいを感じる仕事を選択するのが一番だと感じている。

平成二十八年国語解答用紙

受験番号
氏名

(注意) ※印の所には記入しないこと

一		
問八	問五	問一
	1 カタカナ	
問九		問二
問十	2 ひらがな	
	3 漢数字	問三
問六		問四
		ア
		イ
問七		

	※
--	---

二			
問九	問六	問四	問一
			A
	問七	問五	B
		1	
	問八		問二
			問三
		2	
		5	
		3	

	※
--	---

三				
問十一	問八	問七	問五	問一
	問九		問六	問二
	問十			問三
				③
				手
			5	
				⑦
問十二				問四

	※
--	---

合計	※
----	---